

農作業特報

令和5年7月23日

黒 部 市
黒部市農業技術会議

水稻の生育は、気温が高めに推移していることから、2日程度早まっています。今後、平年並みの気象で経過した場合、主力品種「コシヒカリ」の出穂期は、7月31日頃と見込まれます。今後は、病害虫防除を適期に実施するとともに、適切な水管理や追肥により稲体の活力を維持し、産米の品質向上に努めましょう。

1 コシヒカリの穂肥

8月の気温は平年並みか高くなると予報されています。稲体の活力を維持するため、出穂前の葉色が基準よりも淡い場合は、追加の穂肥を施用しましょう。

【追加穂肥の目安】

出穂10~7日前(7/21~24)に
葉色が4.2未満(壤土は4.0未満)

早急に追肥を!!

追肥3号

5~7 kg/10a

出穂期の3日前までに施用する
(まき遅れ、まき過ぎによる
食味低下に注意!)

2 病害虫防除

出穂状況を確認し、適期に防除を行いましょ。また、畦畔や雑草地の除草管理は、本田防除の前に終えましょ。また、草刈り後はできるだけ雑草の穂が出ないように管理しましょ。

【コシヒカリの基本防除の目安:5月中旬田植えの場合】

剤型	時期	使用農薬	散布量/10a (希釈水量/10a)	使用基準 (収穫前日数)
粉剤	穂揃期(8/4頃)	ビームモンカットスタークルF粉剤5DL	4kg	14日前まで
	傾穂期(8/11頃)	キラップ粉剤DL	4kg	14日前まで
	多発時	トレボン粉剤DL	4kg	7日前まで
液剤	穂揃期(8/4頃)	ビームエイトスタークルゾル	薬量 150ml (希釈水量 150L)	7日前まで
		モンカットフロアブル		14日前まで
	傾穂期(8/11頃)	キラップフロアブル	薬量 150ml (希釈水量 150L)	14日前まで
	多発時	エクシードフロアブル	薬量 75ml (希釈水量 150L)	7日前まで

- 散布時期の間隔は7日間を目安とします。(10日以上あけないように)
- 農薬ラベルの記載事項を確認し、正しく使用しましょ。
- 風向きや風速、散布量等に注意し、周辺の作物や住宅地等への飛散防止に努めましょ。

3 出穂後の水管理

稲の活力維持と品質向上、カドミウム吸収抑制のため、出穂期から20日間は田面が出ないよう、「湛水管理」を徹底しましょ。(乾田直播は収穫直前まで湛水管理を続ける)

【湛水方法】

- 水深3cm程度に湛水し、田面が露出する前に再度入水する。
- 水持ちが良くても1週間に1回は、新しい水を入水する。
- 20日間を過ぎたら収穫の1週間前まで「**間断かん水**」を続ける。
(フェーン予報時は湛水する)

用水は限りある資源です。有効利用にご協力ください。

- 水尻はしっかり止める。
- 畦畔から漏水がないか点検する。
- かけ流しはしない。

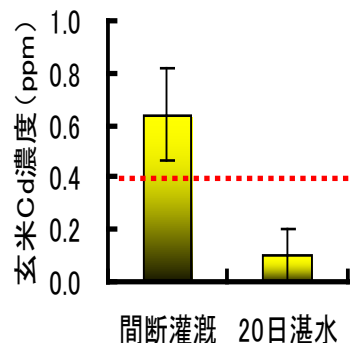


図 水稻の出穂後の水管理と玄米中のカドミウム濃度
産米流通対策地域の県有施設ほ場試験結果(農研コシカリ)